

1 全体総括

本年度は、4年ぶりに「機関評価」を実施しており、関係所管部局との連携の下、各試験研究機関の使命・役割を明確にし、組織運営におけるマネジメント上の課題を中心に評価しました。特に、使命・役割については、各試験研究機関の設立の目的、歴史的変遷、専門領域等の違いから、県の計画や推進方針に沿い明確になっている機関もある一方で、県の特徴を踏まえた使命・役割の設定が必要となっている機関もあります。

一方「課題評価」については、各試験研究機関の重点的な研究課題である31研究課題（事前評価11、中間評価11、事後評価9）について評価しました。

なお、課題評価の種類は、次のとおりです。

「事前評価」：研究課題の採択の可否などについて評価する。

「中間評価」：研究課題の見直しや継続の可否などについて評価する。

「事後評価」：研究目的の達成度や研究成果等について評価する。

評価結果については、

「事前評価」11課題のうち「採択した方がよい」は11課題、

「中間評価」11課題のうち「継続した方がよい」は11課題、

「事後評価」9課題のうち「計画どおりの成果が得られた」は9課題との総合評価となりました。

これらの研究課題について、本委員会の下に設置されている各課題評価専門部会からの課題評価結果報告を受け、本委員会で検討し、評価結果をとりまとめました。